

読まんかね

2010.2 Vol.57

隠岐の島町図書館

〒685-0014
 島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二・17-1
 tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198
 e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



暮らしに役立つ図書館講座

「外国人による日本語弁論大会」の優勝者が語る
 ~海士町のまちづくり 若者・馬鹿者・よそ者~

講師 サミーラ・グナワラデナさん
 日時 3月6日(土) 15:00~16:30
 場所 図書館研修室

2008年「外国人による日本語弁論大会」で優勝された海士町の研修生、サミーラ・グナワラデナさんをお迎えし、海士町でのまちづくりの経験や、海士の魅力などを語っていただきます。

講師紹介

1981年スリランカ生まれ、2001年立命館アジア太平洋大学の留学生として来日し、卒業後、2006年9月から海士町観光協会の商品開発研修生として、島民にない発想での商品開発を担う。島に自生していたツボクサ(スリランカでは日常的に用いられているゴトゥコラというハーブ)に目をつけ、商品化に取り組んでいる。

2008年に開催された「第49回外国人による日本語弁論大会」で「若者、馬鹿者、よそ者」という題で、島づくりにかかわった経験などを弁論し、優勝・外務大臣賞を受賞。



新刊本紹介

| 本の名前 | 書いた人 | 出版社 |
|-----------------------------|---------------|----------------|
| すぐわかるWindows 7 快適設定 | アスキー書籍編集部 | アスキーメディアワークス |
| 今ウェブは退化中ですが何か? | 中川淳一郎 | 講談社 |
| お好みの本入荷しました | 桜庭一樹 | 東京創元社 |
| 日本史有名人の子孫たち | 新人物往来社 | 新人物往来社 |
| 「阿修羅像」の真実 | 長部日出雄 | 文芸春秋 |
| 秋山真之 日本海海戦を勝利へ導いた名参謀 | 歴史街道編集部 | PHP研究所 |
| 竜馬伝 | | 日本放送出版協会 |
| 幸塾 今を楽しむ天才、鳩山幸 | 『和楽』編集部鳩山幸取材班 | 小学館 |
| ベルギー、花の風景 | 宮下南緒子 | 文芸社 |
| ずるい!? なぜ欧米人は平気でルールを変えるのか | 青木高夫 | デイズガアートクリエイティブ |
| 小沢一郎嫌われる伝説 | 渡辺乾介 | 小学館 |
| 介護の値段 | 結城康博 | 毎日新聞社 |
| 不機嫌な女子社員とのつき合い方 | 北山節子 | ポプラ社 |
| 「全国学力テスト」はなぜダメなのか | 尾木直樹 | 岩波書店 |
| かわいい子には「こづかい」をあげるな! | 小泉俊昭 | 大和書房 |
| 母と娘の代理出産 | 根津八紘 沢見涼子 | はる書房 |
| 舛添メモ 厚労官僚との闘い752日 | 舛添要一 | 小学館 |
| おとこの老後 | 米山公啓 | 集英社 |
| 焦らなくてもいい! 拒食症・過食症の正しい治し方と知識 | 水島広子 | 日東書院本社 |
| 最高の断熱・エコ住宅をつくる方法 | 西方里見 | エクスナレッジ |
| iPodを200倍楽しむ本 | | アスペクト |
| 消費者の心に響くウェブサイトの作り方 | 宣伝会議書籍部 | 宣伝会議 |
| ファブリーズはいらない 危ない除菌・殺虫・くん煙剤 | 渡辺雄二 | 緑風出版 |
| 春夏秋冬餅レシピ 1年中食べたい餅料理108 | 斎藤宗厚 | トランスワールドジャパン |
| 「100空港時代」を生き残れ | 杉浦一機 | 中央書院 |
| 季節を彩る美しいつるし飾り・さがりもの | 成美堂出版編集部 | 成美堂出版 |
| マスキングテープでつくるかわいい小物 | 誠文堂新光社 | 誠文堂新光社 |
| 面白いほどよくわかるジャズの名演250 | 中村誠一 高平哲郎 | 日本文芸社 |
| 独創力。人間「桜庭和志」から何を学ぶのか | 桜庭和志 | 創英社 |
| 万年前座 | 立川キウイ | 新潮社 |
| ふだん使いの正しい敬語 | 奥秋義信 | |
| キケン | 有川浩 | 新潮社 |
| もいちどあなたにあいたいな | 新井素子 | 新潮社 |
| 親鸞 上・下 | 五木寛之 | 講談社 |
| 夢ほり人 | 池永陽 | 文芸春秋 |
| ごっつい奴 | 江上剛 | 講談社 |
| 凶弾 | 逢坂剛 | 文芸春秋 |
| 私の家では何も起こらない | 恩田陸 | メディアファクトリー |
| TRIP TRAP | 金原ひとみ | 角川書店 |
| 貸し込み 上・下 | 黒木亮 | 角川書店 |
| 夕暴雨 | 今野敏 | 角川春樹事務所 |
| 更衣の鷹 上・下 | 佐伯泰英 | 双葉社 |
| ブラック・ローズ | 新堂冬樹 | 幻冬舎 |
| トギオ | 太朗想史郎 | 宝島社 |
| さよならドビュッシー | 中山七里 | 宝島社 |
| カッコウの卵は誰のもの | 東野圭吾 | 光文社 |
| 花世の立春 | 平岩弓枝 | 文芸春秋 |
| 月光の刺客 | 森村誠一 | 実業之日本社 |
| オルモスト・ムーン | アリス・シーボルト | ヴィレッジブックス |
| 古書の来歴 | ジェラルディン・ブルックス | ランダムハウス |

2月の休館日

1(月) 8(月) 11(木)
 13(土)~22(月)

今月は蔵書点検のため、13日から22日まで休館いたします。みなさまにはご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解ください。閉館中の本の返却は図書館入り口横の返却ポストをご利用ください。

・・講演会「ほめ上手になってもっと子育てを楽しもう！」がありました・・



2月6日に、おき子育て応援フォーラム2010・暮らしに役立つ図書館講座「ほめ上手になってもっと子育てを楽しもう！」があり、島根大学教授の原広治氏が講演をしてくださいました。

講演では、参加者同士が組になり、片方が話しをし、聞き手は何も反応しない場合と、相づちをうちながら聞く場合とをみんなで試しました。やはり相手が反応しないと話しにくく、親が子どもの相手をしないときの、子どもの気持ちを実感することができました。

忙しいときに相手をするのは大変ですが、気持ちだけでも子どもに向けていることが大切だと思いました。あらためて子どもとふれあうことの大切さを学んだひとときでした。

子育て中の方や子育てに関心のある方々、38名の参加があり、みなさん熱心に聞かれていました。



都万小学校のみんなが来館

2月のある日、都万小学校の2年生のみんなが図書館に来ました。図書館の使い方について説明を受けた後、各自で検索機を使ってお目当ての本を探してみたり、図書館員に「こんな本ない？」と聞いたりしていました。帰るときにはたくさん本を借りていきました。また来てね！

図書館では学校での利用も歓迎しています。希望があれば、図書館の使い方などの説明もしますので、ご相談ください。



ありがとうございました！

1月は鉄山昇様、田中好隆様、ほか3名の方に資料を寄贈していただきました。図書館の資料とする以外にも、他の施設で使用するなど、大切にさせていただきます。

どうもありがとうございました。



・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

展示コーナー

隠岐民具版画展

～故郷への心の糸を紡ぐ～

飯田小学校でつくられた版画集(昭和57・58・59・62年度卒業生制作)の作品を新たに刷りなおして展示します。

倉谷寛先生の指導のもと、昔隠岐で使われていた民具のことを、当時の生徒や卒業生が調べて版画にしたもので、どれも力作です。ぜひご覧ください。

期間 2月23日(火)～3月末

場所 図書館展示コーナー

特集コーナー

言葉を楽しむ

普段何気なく使っている言葉ですが、おかしな言葉混じってませんか？日本語についての雑学から、敬語のマナー、心に響く言葉まで、知っているようで意外と知らない言葉の魅力に注目です。

えほんコーナー

おうさま・ひめさま



絵本の中にはいろいろなおうさまやおひめさまが出てきます。かわいいおうさま、おちょこちよいなおうさま、やさしいおひめさま...みんな会いに来てね。

・・・1月の利用状況報告・・・

| | 入館者数 | 貸出人数 | 貸出冊数 | 登録者数 |
|------|-------|-------|-------|------|
| 21年度 | 4,659 | 1,594 | 7,781 | 16 |
| 20年度 | 5,085 | 1,695 | 8,253 | 24 |
| 比較 | 426 | 101 | 472 | 8 |

・・・1月によく読まれた本ベスト10・・・

| | | | |
|----|----------------------|------|----------|
| 1位 | 1Q84 BOOK2 | 村上春樹 | 新潮社 |
| 2位 | 沈黙の森 | 馳星周 | 徳間書店 |
| 2位 | 聖徳太子の密使 | 平岩弓枝 | 新潮社 |
| 2位 | 龍馬と弥太郎 | 童門冬二 | 日本放送出版協会 |
| 2位 | ハッピー・リタイアメント | 浅田次郎 | 幻冬舎 |
| 2位 | アバター | 山田悠介 | 角川書店 |
| 2位 | 60歳からの仕事 | 清家篤 | 講談社 |
| 2位 | 島田洋七の老いてますます、おもしろい人生 | 島田洋七 | 日本文芸社 |
| 2位 | おとこの老後 | 米山公啓 | 集英社 |
| 2位 | 不機嫌な女子社員との付き合い方 | 北山節子 | ポプラ社 |

・・・図書館職員おすすめの一冊・・・

『大江戸省エネ事情』 石川英輔 著 講談社

今、人口の半分以上が携帯電話をもっているという。私も、携帯電話を使って10年以上たつので、いつでもどこでも相手に連絡をとれる便利さに慣れてしまっている。

ところが、昭和20年代には、4キロ離れた所に電話をかけて繋がるまでに1時間以上もかかることもあったというのに驚いた。電話をかけるより、直接歩いて行った方が近いかもしれないなんて、信じられない...

この本は、石川英輔さんの「大江戸」シリーズで、大江戸と名がついているが、江戸時代だけでなく、現代と、昭和初期の3時代の社会を、エネルギー事情の観点から比べている。

電話の事ひとつとってみても、電話のなかった江戸時代は、飛脚以外にも様々な「伝える」職業の人がいたという。現代と比べると、その所要時間や労力は比べものにならない。一番驚いたのはその利用料だ。ぜひ、予想して読んでみて下さい。



今月は曾田が紹介します